

事業評価シート（平成27年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	青少年指導・相談事業		
事業担当	健康・こども部 青少年課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'01	①〈人間力〉 一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ	
	'04	4 子ども時代に生きる力を身につける環境をつくる	
根拠法令等			
対象・受益者	悩みを抱えた青少年・問題行動をしている青少年	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
	目的・目標		事業の概要
青少年や保護者の不安や悩みを和らげています。問題行動のある青少年が立ち直り、犯罪に関わらないよう守られています。		青少年の悩みを早期に解消するため、青少年相談員による相談活動を行います。また、青少年の非行の未然防止と早期発見、早期指導のため、青少年補導員などによる愛護指導を行うとともに、更生保護を担う保護司などの活動を支援します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	相談室開設日数			単位	日
	説明・算定式	青少年相談室を開設した日数				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	294	293	294		
活動指標②	指標名	愛護指導回数			単位	回
	説明・算定式	愛護指導を実施した回数				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	427	425	403		
成果指標①	指標名	相談件数			単位	件
	説明・算定式	電話(ヤングテレホンを含む)やメール、来室により相談を受けた件数				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	850	757	997		
成果指標②	指標名	愛護指導件数(平成27年度から)			単位	件
	説明・算定式	愛護指導により交通違反、飲酒・喫煙、不良交友等の不良行為等に対して声掛け指導を行った件数				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績			1,790		
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成27年度の主な取組と成果						
<p>青少年の非行の早期発見及び早期指導を実施しました。愛護指導では、自転車運転中の携帯電話やイヤホンの使用などの危険行為についての指導・声掛けが浸透しつつあり、件数が大幅に減少しました。また、飲酒・喫煙の指導は七夕まつり期間中での声掛けが目立ちましたが、件数は減少しました。遊技場出入りやコンビニ等での地べた座り等の迷惑行為などの不良行為も減少し、愛護指導件数全体が昨年度より大幅に減少しました。相談件数は、本人及び家族等を含め全体的に増加しました。</p>						
平成27年度の検証結果	A：成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	悩みを抱えた青少年からの相談や、問題行動のある青少年への声かけは依然として多い水準となっており、引き続き事業を行っていく必要性があります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	悩みを抱えたり、問題行動のある青少年に対し粘り強く指導・相談を継続していくことは、問題解決に高い効果が期待できます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	継続して事業を行うにあたり、現在においても限られた人員で交代勤務を行っているため、執行体制の妥当性は高いものと思われます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	嘱託員賃金の削減は困難ですが、愛護指導報酬の見直しについては検討の余地があります。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 青少年や保護者等が相談しやすい環境を醸成することが重要であり、引き続き相談室の啓発活動の強化と、相談員の質的向上に努める必要があります。愛護指導では、夜間特別指導や地域や各中学校区内の実情に応じた強化愛護指導を積極的に実施するとともに、近年多発する子ども対象の不審者事件に対応して、地域や警察関係機関等との連携を強化する必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額
事業内容		補導員や相談員による巡回指導・相談活動の実施	補導員や相談員による巡回指導・相談活動の実施	相談業務や愛護指導の実施、更生保護活動への支援や相談員の研修等
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	266	350	350
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	18,580	18,086	19,447
事業費 (A)		18,846	18,436	19,797
執行率 (%)		98.49	97.37	96.17

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成29年度の取組方針 地域と連携した愛護指導(中学校区強化愛護指導)を実施し、地域の実情に沿った愛護指導活動を行います。また、青少年の非行化を防止、問題行動のある青少年が立ち直り、犯罪に関わらないように守られていくため、警察等関係機関や更生保護関係団体との連携をより強化して、より適切な対応ができる体制づくりに努めます。
課長コメント 青少年の健全育成及び非行化防止のために、愛護指導の強化と青少年相談体制の充実を図り、相談室事業内容を積極的にPRして、事業を活性化します。青少年相談事業の一環として平成28年度から始まった「不登校・ひきこもり」対策のNPO法人との協働事業にも引き続き取り組めます。